

中学校教科等研修講座(社会科)

教科等指導員 西中学校 教諭 岡久 友香

担当指導主事：時村 孝完

キーワード：地理教育 ICT活用 若手育成 協同学習 地図活用

1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
12月5日(火)	西中学校 岡久 友香 教諭	西中学校 2年3組教室・授業 被服室・講話	「北海道の農業と酪農」(第2学年) 「中学校地理教育の可能性」

2 主な内容

(1) 「北海道の農業と酪農(第2学年)」

「なぜ、北海道では地域によって発達している産業に違いが見られるのか」を本児の主題として、授業を展開した。

① 導入

生徒のなじみのある特産物を取り上げた。また、身近な食品を使うことで興味づけを行った。

② 展開

グループを構成し、石狩平野・十勝平野・根釧台地に担当地域を振り分け、生産される作物や発達する産業の違いが生まれる理由について考察を行った。

③ まとめ

生産される作物や発達する産業の違いは、地形、気候、土壌等と密接に関係していることについて説明を行った。

(2) 「中学校地理教育の可能性」講話

① 授業づくりで大切にしたいこと

授業では、フィールドワークを通して得た情報を取り入れる重要性について。

② 中学校地理教育の授業展開の事例紹介

地図帳を活用することの意味や活用の仕方、地理の授業におけるICTの活用方法について。



3 成果と課題

(1) 成果

① 生徒の興味・関心を引くための教材選択の方法を提示することができた。

② 各学校の地理教育の悩みを共有し、地理教育についての授業のあり方を参加者で考えていくことができた。

(2) 課題

① 研修日程について、教員が参加しやすい時期を選択する必要がある。

② グループ活動時の資料選択について、生徒の自主性を引き出させるための問いの設定が必要である。

③ 地図帳の活用方法について、授業の中で細かく指導していく必要がある。